



夏の挑戦

長泉中×北中
野球部



部員数

長泉中 28人 (3年1人、2年20人、1年7人)
北中 16人 (3年3人、2年1人、1年12人)

POINT

一昨年度から部員数の減少により長泉中・北中の合同チームで活動している。駿東大会で準優勝し、県大会への出場を果たしたが、目標の県大会1勝には惜しくも及ばなかった。

声出して行くぞ!



先輩の借りを返す

昨年は駿東大会1回戦で負けてしまい、先輩の悔しい姿を間近で見て、先輩たちが叶わなかった**県大会での1勝をまず勝ち取りたい**という思いで中体連に挑みました。

主将として周りをまとめるなかで、「自分のプレーでチームを引っ張りたい」と思いながら練習に励んできました。

その結果、駿東大会の格上チームを相手にした厳しい局面でも、みんなで声を出し、「勝ちたい」という強い思いで**チームが1つになる**ことができました。

長泉中 部長

なるはし えいと
成橋 永翔さん



目標に向かって挑み戦う、アツい夏の挑戦。

部活動の大きな目標の一つである中体連やコンクール。中学3年生にとっては部活動最後の挑戦。

成績は、1回戦敗退から優勝、全国大会出場までさまざま。憧れの舞台で最後まで全力で戦い、夢や目標、感謝、それぞれの思いを胸に、悔いがないよう一生懸命に挑んだ生徒たち。

ほとばしる汗、満面の笑み、精悍な眼差し、溢れる涙…輝かしい生徒たちの挑戦の1ページをご覧ください。



苦しい状況でも成長

部員が少なく、3人で練習をすることもありました。3年間のうちに長泉中と合同になったり、分かれたりしたので、合同チームになる際にはサインや練習メニューなどの違いから、**苦戦すること**も多かったです。しかし、長泉中メンバーとはすぐに打ち解けることができ、団結できたので良かったと思います。

入部前から野球をやってきて、一番今が一生懸命に**野球に向き合うこと**ができていますと思います。3年間でピッチングもバッティングも**成長すること**ができました。

北中 部長
なかむら はやと
中村 隼都さん



2校で共に流した汗 チーム長泉



SOCCER



北中 サッカー部

前向きな長北11 全力で掴んだ勝利

イレブン



思いは一つ
絶対に勝つ

部員数

21人 (3年8人、2年7人、
1年6人)

POINT

半数以上が経験者で個人技を
ベースに4-4-2のフォーメー
ションから多彩な攻撃を仕掛け
るのが得意。

1回戦で勝利を収めるも2回戦
で強豪校相手に惜敗。

悲願の勝利

まずは3年間、僕についてきて一緒に戦い
抜いてくれた、メンバーのみんなに**感謝**
を伝えたいです。去年は部員数が少なく、試合
で不利になってしまうこともあり、悔しい思い
もしました。

しかし、みんなの前向きに全力で取り組む
姿勢や顧問の先生の的確なアドバイスの
おかげで1回戦は練習試合で**勝てなかった
相手に勝つことができました。**

尊敬する先輩の姿を追いかけ、勝つこと
だけを意識し、全力で戦い抜いたので、
悔いはないです。

部長

きのむら ゆうた
木野村 優太さん



先輩の思いを繋ぐ

前向きな先輩たちは、つらい時も声を
出し、**頼もしい背中**でみんなを引っ
張ってきてくれました。

先輩たちの負けた
借りは来年、僕たちが
必ず返します!

北中 2年生

かい はやと
甲斐 颯仁さん



ライバルと互いに 高めあった3年間



部長
あおき ゆな
青木 優奈さん

みんなで限界突破

中体連では、悔いが残らないよう自分らしいプレーを心掛けました。結果は目標にあと一步届きませんでしたが、大会が終わり、積極的な攻撃や声出しができなかった**過去の自分**に比べて成長できたと思うので、悔いはありません。

3年間を通して、自分だけでなくチームみんなで成長してきました。負けた時に励ましあったり、時にはライバルとして戦ったりする中で、**切磋琢磨**してきた仲間たち。

最初は何も上手くいかなかったものの、みんなで少しずつ実力をつけ、このメンバーだったからこそ**各々が限界を超えること**ができ、楽しい部活動生活を送ることができました。

長泉中 女子卓球部

部員数

29人（3年10人、2年13人、1年6人）

POINT

部内でランキング戦を行い、県大会出場を目標にお互い高め合ってきた。団体戦では予選リーグ戦を1位通過し、決勝トーナメントでは健闘したが惜敗。一方で個人戦では県大会出場を決めた。



ナイス!



負けてる時こそ
声で盛り上げる!



北中
男子バレーボール部



一球入魂！
スパイクに込める想い



伝統に感謝
最後の水泳部

最後の部員として

水泳部は今年でなくなりますが、今まで活動できたのも先輩たちが頑張って水泳部の伝統をここまで繋げて来てくれたおかげなので、感謝しています。

最後の部員として「頑張らないといけない」と不安や緊張もありましたが、自分のできることを精一杯やって、最後の大会まで気持ち良く泳ぎ切ることができました。

部活動では、自分が立てた目標に向かって頑張る力が付いたので、これからの生徒会活動や受験勉強で生かしたいです。



部長
新谷 昊海さん



部員数

32人（3年10人、2年14人、1年8人）

POINT

入部当初は初心者がほとんどだったが、声を出し合い、各々が実力をつけてきた。1回戦はセットカウント2-0のストレートで勝利を収めるも、目標の県大会出場は惜しくも逃した。

もっとみんなで
バレーがしたかった。
県大会に連れていけないくて
ごめん。

北中の強みはラリーを制す力

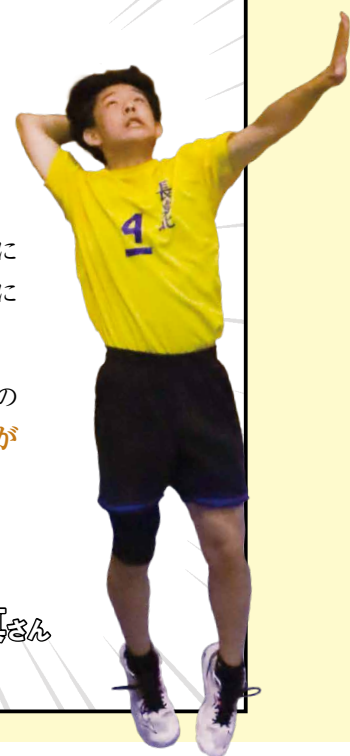
筋トレで鍛えたジャンプ力や安定したトスで、誰か一人の力でなく、みんなでいろいろな点の取り方ができます。

普段の試合ではいつも通りの力が出せるチームですが、中体連はみんな緊張していました。流れを立て直すためにも積極的に点を取り、**自分たちの流れ**にするように心掛けて戦いました。

今まで支えてくれたメンバーや先生への感謝も込めて、**全てを出し切ることができた**ので良かったです。

部長

たむらはるま
田村 晴真さん



SWIMMING

0.1秒でも早く！

己との戦い

部員数

11人（3年生のみ）

POINT

プール施設の老朽化により2年前から部員の募集を停止し、今年で水泳部の活動に終止符を打つ。長泉小のプールで練習し、1人が県大会出場を果たした。

部では歴代、生徒会執行部を輩出するなど文武両道を目指した。

長泉中
水泳部





長泉中 吹奏楽部

一人一人の実力差を縮めて
音をぴったり揃える

“最響”を目指して
奏でた音色



部員数

71人（3年19人、2年21人、
1年31人）

POINT

11パートで活動し、東部大会
では金賞を受賞した。

県大会では惜しくも目標に
していた東海大会出場を逃し
てしまったが、全体のレベル
アップを図ることができた。

音と向き合う

「今年こそ東海！」という思いを全員が持って
練習し、自分たちの音としっかり向き合う
ことに重点を置いてきました。

ゴールのないものを追求めるという
のはかなりつらく、「部長なのにお手本になる
ような演奏ができていない」と悩むことも
ありました。しかし、渾身の演奏ができた
ときは「つらいこともこのためにあった」と
思えるほど、うれしかったです。

結果が発表された時、3年生だけでなく
下級生までもが悔し涙を流しました。
しかし、演奏を通して自分たちのレベルの
向上も感じられたため、後輩にはこの
熱意を忘れずに、今年を越えるくらいの
良い演奏を目指してほしいです。

目標に届かず悔しい。
でも、やりきった！

部長
おおはし はなえ
大橋 英恵さん



北中 美術部



話し合いを重ねて
1～3年生で一つの
作品を作ります！

部員数

43人（3年15人、2年7人、1年21人）

POINT

年に数回のコンクールに向けて個人製作に取り組むほか、部員全員で共同制作や美術館での勉強、希望者は陶芸などにもチャレンジしている。

デジタル媒体を
使用した
制作にも挑戦！



★**光る才能**
★
調和する個性

一丸となって町や学校の行事の
看板や大きな絵を制作



仲間の作品から
制作のヒントを
学ぶことも…！

作品に注ぐ情熱

部員はみんな絵を描くことが**大好き**で、部では人や動物などの絵を**各々が描いてコンクールに応募**したり、**大きな作品の共同制作**を行ったりします。

共同制作では、ながいずみわくわく祭りのお化け屋敷の看板や生徒会行事の絵などを1～2カ月ほどかけて制作します。それぞれ個性があるため、**時にはぶつかってしまうこと**もありましたが3学年で話し合い、良いものができました。

作品を「すごい！」と褒められた時にはとても**やりがい**を感じました。



▲田中さんの力作

部長
たなか しま
田中 志磨さん

部活動を
地域で応援!

部活動の地域移行 START!

問 教育推進課 989-5529

全国的に生徒の数が減少し、各学校単独での部活動の活動継続が厳しさを増している中、将来にわたり生徒たちがスポーツや文化芸術的な活動に継続して親しむ機会を確保するために、今後の部活動のあるべき姿を検討する必要があります。

町でもスポーツ協会・学校・行政など14人の委員で構成する「長泉町部活動地域移行推進協議会」を設置し、部活動に関わるさまざまな立場からの意見を集約し、部活動の地域移行の方向性を検討しています。

これまでの動き

令和4年

- ・文科省から部活動を地域に移行する方針が示される
- ・「長泉町部活動地域移行推進協議会」を設置

令和5年

- ・長泉町に合った移行の方向性「長泉モデル」を構想

令和6年

- ・部活動地域移行コーディネーターの配置と部活動指導員の任用を開始

部活動地域移行
コーディネーター

和智 俊明さん
わちとしあき

6月に第1回推進協議会を開催し、「部活動地域移行推進計画」を策定することや指導者の人材バンクを設置することについて検討しました。

「長泉モデル」として地域の人材を活用した部活動の地域連携や社会教育として行う地域クラブへの移行について具体的な方法を考えていきます。

今後は、モデル事業を実施・検証し、将来的には**地域クラブ**への移行を目指します。

今後の取組状況は、ホームページで随時情報発信していきます。



▲ホームページ



挑戦は継承され、続いていく・・・



指導者を募集しています

興味がある方は、申込フォームから
お問い合わせください。



◀ 申込
フォーム

学生時代にバレー経験があり、定年退職後に生徒の保護者に頼まれたことがきっかけで指導を始めました。

普段は畑仕事などをされていて、教員の経験はありませんが、スポーツを通じて、**何かを続けてやることの大切さ**を伝えたいという思いがあります。素人だった生徒がスパイクを打てるようになったり、人としての成長を見ることができたりする時に**やりがい**を感じています。

生徒や保護者の理解が必要不可欠なので、指導の際には**コミュニケーション**を積極的にとるように心がけています。



北中男子バレーボール部
指導者
にしじま まもる
西島 守さん

活躍中の指導者の声

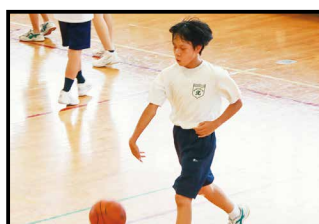
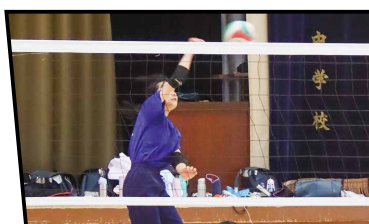
現在、10人の指導者が活躍しています。
平日の練習指導や休日の試合に帯同し、顧問と連携しながら指導・助言などを行っている2人にお話を伺いました。

顧問とは、電話などでやり取りし、活動内容を確認しながら進めていて、卓球の技術的問題は私が担当し、生徒間の問題や運営などについては顧問にお願いしています。どこまで厳しい練習をするかなど、**各生徒が望んでいることを聞き出し、改善方法について指導**をしています。

理想は、生徒自身が課題を持ち、それをコーチに相談し、次のステップとして何を・どのくらい・いつまでにやるのか**話し合いながら一緒に進めていく**ことです。そのため、生徒の安全・安心を第一に**一人一人の気持ちを尊重**しながら指導をしています。



長泉中女子卓球部
指導者
えんどう さとし
遠藤 智さん



編集後記

それぞれの部活動には物語があり、紙面に紹介させていただいたのはほんの一部です。全ての部活動を掲載できなかったことをお詫びします。最後まで頑張った3年生、共に戦った1・2年生、顧問、指導者、そして何よりも支えてくれた保護者の皆さん、感動をありがとうございました。

問 情報戦略室 918-2015